「その子の名はヨハネ」（救い主降誕のできごと④）

ルカの福音書１章 57～66 節

　バプテスマのヨハネは、イエスキリストより半年早く誕生します。先に読んだように、父のザカリヤは御使いの知らせを信じることができなかったことから、その時まで、話すこと、聞くことができなくなりました。それはいろいろな意味で苦しみであったと思われますが、しかし、ヨハネが誕生した時のザカリヤは、むしろ賛美に溢れていました。「ヨハネ」とは「主はあわれみ深い」との意味です。今日はヨハネの誕生とそのメッセージに目を向けます。

①ザカリヤの 10 ヶ月の意味

“御使いは彼に答えた。「…見なさい。これらのことが起こる日まで、あなたは口がきけなくなり、話せなくなります。その時が来れば実現する私のことばを、あなたが信じなかったからです。」”1:19-20

“そして、幼子にどういう名をつけるつもりか、身振りで父親に尋ねた。すると彼は書き板を持って来させて、「その子の名はヨハネ」と書いたので、人々はみな驚いた。すると、ただちにザカリヤの口が開かれ、舌が解かれ、ものが言えるようになって神をほめたたえた。”62-64

“苦しみにあったことは私にとって幸せでした。それにより私はあなたのおきてを学びました。”詩篇 119:71

②祭司ザカリヤの家に生まれた預言者ヨハネ

“御使いは彼に言った。「恐れることはありません、ザカリヤ。あなたの願いが聞き入れられたのです。あなたの妻エリサベツは、あなたに男の子を産みます。その名をヨハネとつけなさい。…” 1:13

③ヨハネのメッセージは何か

“（ヨハネは）…イスラエルの子らの多くを、彼らの神である主に立ち返らせます。彼はエリヤの霊と力で、主に先立って歩みます。父たちの心を子どもたちに向けさせ、不従順な者たちを義人の思いに立ち返らせて、主のために、整えられた民を用意します。” 1:13-

“アンナスとカヤパが大祭司であったころ、神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに臨んだ。ヨハネはヨルダン川周辺のすべての地域に行って、罪の赦しに導く悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。…悔い改めにふさわしい実を結びなさい。” 3:2-3,8

◎思い巡らしてみましょう

・ヨハネは、「罪を悔い改めて、神に立ち返りなさい」というメッセージを語るために神が遣わされた人でした。それは「正義の神」「裁きの神」を伝えるということでもあります。このヨハネのメッセージはイエスキリストのメッセージと矛盾しないのでしょうか。愛の神と裁きの神はなぜ一つなのでしょうか。